

今週（7月16日から7月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、引き続き邦銀業態を中心に調達ニーズの強い展開が続いた。
O/N物については、新しい積み期間に入ったものの、引き続き0.077~0.078%近辺にビッドが集中する展開が続いた。
その結果、加重平均レートは17日(水)に試し取りと思われる調達が見られたことから0.078%となったが、そのほかの日では何れも0.077%となり、週末となった19日(金)も相場に大きな変化は見られず、概ね横這い圏での取引となった。
ターム物については、7月末の決定会合を気にする先もあり、レートは上昇傾向となった。
無担保コール市場の残高は緩やかに増加し、18日(木)には8.3兆円まで回復した。

日銀当座預金残高は、前週末時点では543兆円程度であったが、今週は週前半に為替介入の決済と推測される減少が見られた事で538兆円まで減少した。しかし18日以降、国債の買入れや気候変動オペの残高増加を受け、急速に回復した結果、前週末比では横這い圏となる544兆円程度での着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね▲0.02~+0.085%程度での推移となった。
SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが入札を経て水準調整された。
18日(木)に行われた1Y物の入札は、前回債(1238回)比でレートが上昇したが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりで推移した。19日(金)に行われた3M物入札はやや強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、小じっかりで推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、機械、鉱業、輸送用機器、鉄鋼など複数の業態が大型発行を実施した。
市場残高は、24兆円台前半から始まり、週後半には24兆円台半ばまで増加した。
発行レートについては、ショートターム物については、0.1%台前半から半ばで推移しているが、2 M以降の長めの期間となる物については、利上げを警戒する動きがあるため、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
7/15（月）						
7/16（火）	41,275.08	1.020	158.38	0.077	0.052	5,397,600
7/17（水）	41,097.69	1.030	158.51	0.078	0.041	5,375,600
7/18（木）	40,126.35	1.035	155.75	0.077	△ 0.033	5,395,300
7/19（金）	40,063.79	1.040	157.38	0.077	0.070	5,442,000

来週（7月22日から7月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/22 (月)		流動性供給 5,000億円 7/23発行			
7/23 (火)		交付税借入 13,000億円 7/31借入			6月の米中古住宅販売件数
7/24 (水)		40Y 7,000億円 7/25発行			6月の米新築一戸建て販売件数
7/25 (木)	月例経済報告（内閣府） 6月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	交付税借入 12,500億円 8/5借入			4-6月期の米GDP速報値 6月の米耐久財新規受注
7/26 (金)	7月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TB3M 52,000億円 7/29発行	2Y 26,000億円 8/1発行		6月の米個人所得・消費支出(PCE)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/22 (火)	600	10,400	11,000	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 200 ▲ 200 21,400		21,000	32,000	TB3M発行▲52,000償還58,000 TB1Y発行▲32,000償還28,800 エネルギー借入▲8,000期日7,800
7/23 (火)	1,500	▲ 5,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	流動性供給▲5,000
7/24 (水)	1,500	▲ 1,000	500	社債買入 全店共通	▲ 8,000	800	▲ 7,200	▲ 6,700	
7/25 (木)	▲ 500	▲ 2,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	40Y発行▲7,000 交付税借入▲13,000期日13,000
7/26 (金)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
週 間 合 計	2,600	1,400	4,000	—	13,000	800	13,800	17,800	

7/22は日銀予想、7/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態の堅調な調達ニーズを背景に横這い圏での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、0～0.095%程度のレンジで推移することが予想される。短国市場は、26日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、26日(金)にCP等買入オペが3,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では26日(金)に7月の都区部消費者物価指数、海外では、24日(水)に6月の米新築一戸建て販売件数、25日(木)に4-6月期の米GDP速報値、26日(金)に6月の米個人所得・消費支出(PCE)などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入